

4 趣味・娯楽

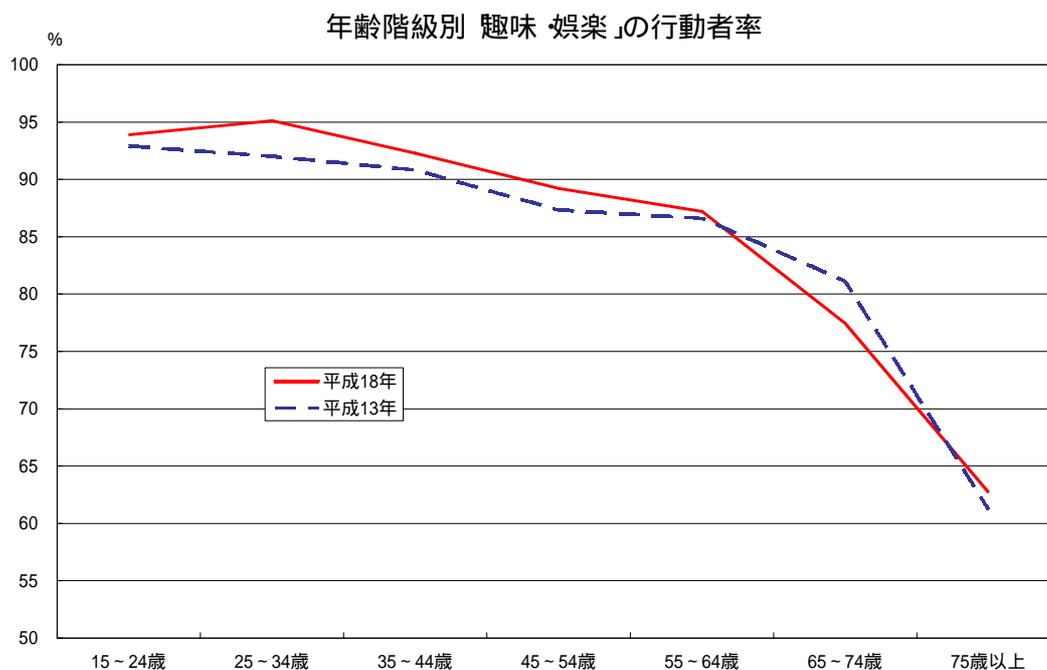
1年間に「趣味・娯楽」を行った人は約110万人、行動者率は87%

過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った人は109万9千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率）は、87.0%で、全国平均より2.1ポイント上回っている。

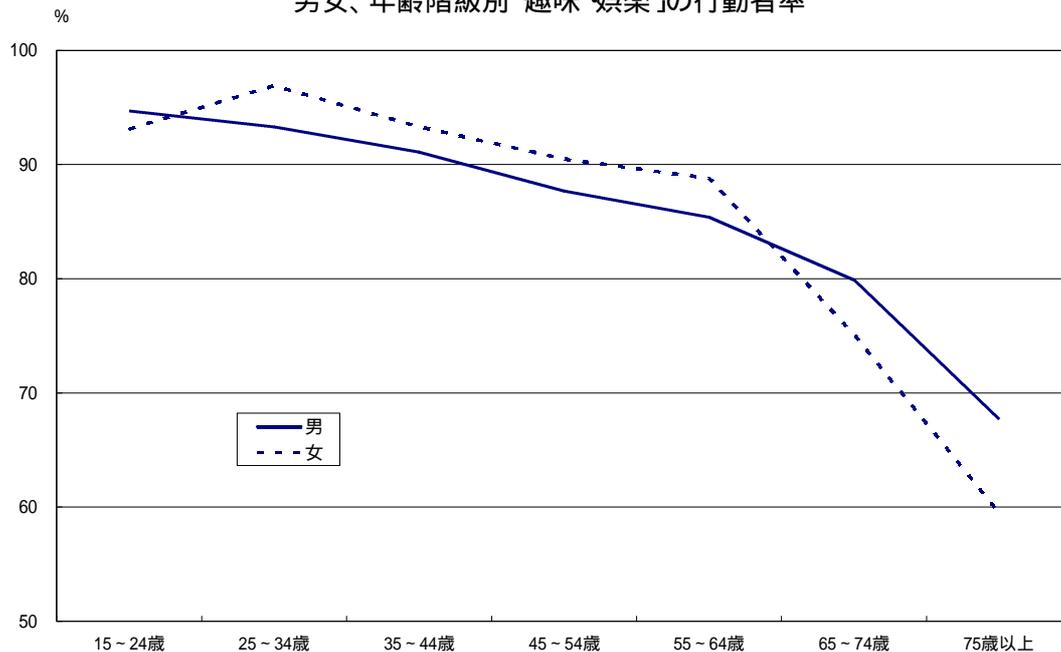
行動者率を男女別に見ると、男性は87.4%（行動者数52万2千人）、女性は86.8%（57万7千人）で男性が女性より高くなっている。これを平成13年と比較すると、男性は0.5ポイント上昇し、女性は0.3ポイント、低下している。

25～34歳で高い行動者率

「趣味・娯楽」の行動者（15歳以上人口）率を年齢階級別にみると、25～34歳で95.1%と最も高くなっており、年齢が高くなるにつれておおむね低下している。行動者率を男女別にみると、25～64歳を除き、男性が女性より高くなっている。



男女、年齢階級別「趣味・娯楽」の行動者率



行動者率の高い「CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞」

「趣味・娯楽」を行った人を種類別にみると、「CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞」69万8千人（行動者率55.3%）と最も多く、次いで、「DVD・ビデオ等による映画鑑賞」が60万人（47.5%）、「趣味としての読書」が57万人1千人（45.2%）の順となっている。

種類別の行動者率を全国平均と比較すると、「園芸・庭いじり・ガーデニング」、「映画鑑賞（テレビ・ビデオ・DVD等は除く）」、「趣味としての読書」の順で上回り、逆に「パチンコ」、「スポーツ観覧（テレビ・DVD等は除く）」、「邦舞・おどり」の順で下回っている。

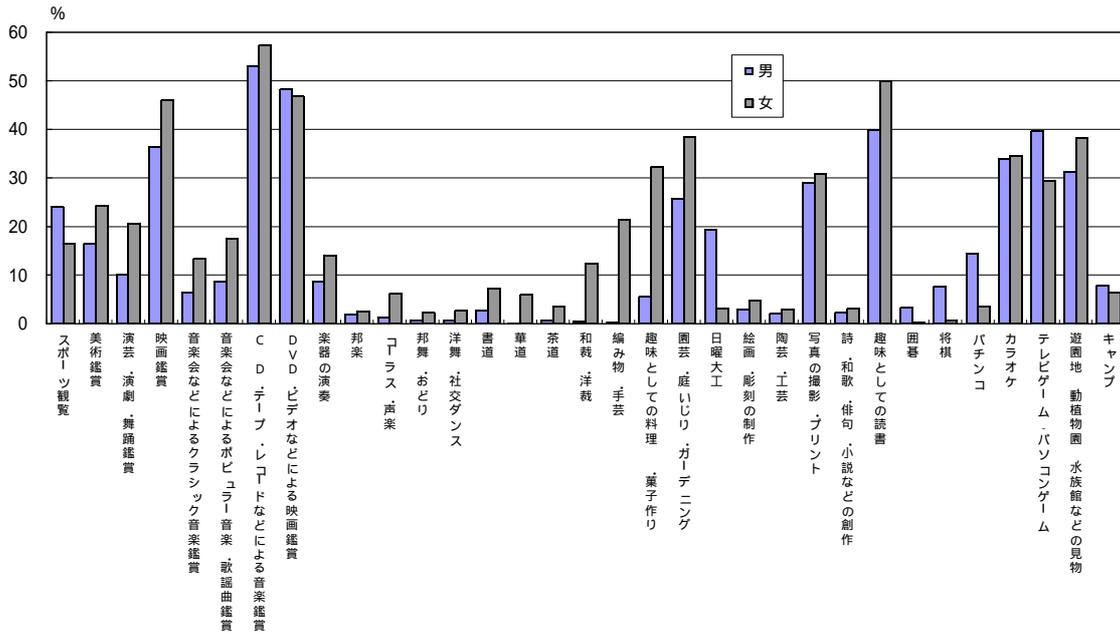
年齢の違いにより特徴がある「趣味・娯楽」の種類

「趣味・娯楽」の種類別行動者率を年齢階級別にみると、15~54歳では、「CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞」が最も高く、次いで、「DVD・ビデオ等による映画鑑賞」となっているが、3番目に行動者率の高い種類は年代によって異なり、15~34歳では、「テレビゲーム・パソコンゲーム（家庭で行うもの携帯用を含む）」、35~44歳では、「遊園地、動植物園、水族館等の見学」、45~54歳では、「趣味としての読書」となっている。55歳以上では、「園芸・庭いじり・ガーデニング」が最も高く、次いで、「趣味としての読書」となっているが、3番目に行動者率の高い種類は年代によって異なり、55~74歳では、「CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞」、75歳以上では、「カラオケ」となっている。

行動者率が上昇した「テレビゲーム・パソコンゲーム（家庭で行うもの携帯用を含む）」

平成13年と比較可能な「趣味・娯楽」の種類について行動者率をみると、上昇幅の大きい順に「テレビゲーム・パソコンゲーム（家庭で行うもの携帯用を含む）」（3.8ポイント）、「映画鑑賞（テレビ・ビデオ・DVD等は除く）」（2.9ポイント）、「スポーツ観覧（テレビ・DVD等は除く）」（0.8ポイント）などとなっている。また、低下幅の大きい順に「カラオケ」（5.8ポイント）、「園芸・庭いじり・ガーデニング」（5.1ポイント）、「日曜大工」、「パチンコ」（3.9ポイント）などとなっている。

男女別「趣味・娯楽」の種類別行動者率



- ～ テレビ・DVDなどは除く。
- テレビ・ビデオ・DVDなどは除く。
- テレビからの録画は除く。
- 民謡，日本古来の音楽を含む。
- 家庭で行うもの携帯用を含む。